

第四次 綾瀬市 地域福祉活動計画

～ともに支えあうまちづくりを～

【目標1】
伝わりやすい広報活動を行い、社協会費、共同募金が住民に還元されている実感を持ってもらうためのしくみをつくる。

【目標2】
地域共生社会の構築を見据え、市社協活動へ住民が参加しやすいしくみをつくる。

気軽にふれあえ魅力ある綾瀬市社協をつくる

「4つの目標」

～綾瀬市社協が住民や市内関係団体に期待される組織をつくる～

【目標3】
誰もが気軽に地域で相談でき、地域の情報に敏感なしくみをつくる。

【目標4】
さまざまな事に対応できる組織をつくる。

地域福祉活動計画とは？

- 社会福祉協議会が呼びかけて策定する、地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画
- 公的制度を補完するためではなく、それぞれが主体となって行動します。
- 地域住民一人ひとりが、福祉を自分たちの問題としてとらえ、参加し、話し合い、支え合い、人々がつながる、より良い地域社会の構築を目的とします。

向かう方向性

- 「対象を限定しない」事業や場の展開
- 住民の方々が地域活動に参加しやすい体制づくり
- 福祉制度のはざ間に目を向け、現状の理解を図ります
- 普段“福祉”を意識することのない人たちにも関われる活動の展開

福祉って？

- 「福祉」→「ふ・く・し」
→「ふだんの 暮らしの しあわせ」
- 多くの場合、福祉といえば社会的弱者のことをイメージします。社会的弱者に対する思いやりや支援が福祉だと思いがちです。しかし、こうした一方的な視点だけでは福祉は他人事となってしまいます。
- 大切にしたいのは、普段の暮らしのなかで、「自分自身もそこにいる」ということであり、福祉は自分自身の問題であるという視点が重要です。

計画の期間と進行管理

- 計画期間 2019～2023年度(5カ年)
- 計画の推進主体 綾瀬市社協
- 計画の担い手 福祉団体、福祉施設、行政、ボランティア、市民、綾瀬市社協等
- 計画の進行管理 綾瀬市地域福祉活動計画推進委員会

第四次綾瀬市地域福祉活動計画

編集・発行：社会福祉法人綾瀬市社会福祉協議会
所在地：神奈川県綾瀬市深谷中4-7-10 綾瀬市保健福祉プラザ内
電話：0467(77)8166
FAX：0467(79)1812

<http://www.ayase-shakyo.or.jp/>
info@ayase-shakyo.or.jp
[@ayaseshakyo](https://twitter.com/ayaseshakyo)
綾瀬市社会福祉協議会



基本理念

ともに支えあう まちづくりを

基本目標Ⅰ
住民の主体的参加と協働による
地域福祉活動の推進
地域の誰もが参加でき、「支える側」「支えられる側」の
線引きのない支援を構築します

基本目標Ⅲ
生活課題解決に向けて関係機関が
連携して取り組む地域福祉活動の検討
関連団体等が日常的に横の連携を持つことで、地域を
より良くしていく体制づくりをしていきます

基本目標Ⅱ
地域のあらゆる要素との連携・協働で
進める地域福祉活動の推進
地域が障がいに対する理解を深め、偏見のない
住みよい地域になるための場をつくっていきます

基本計画5
災害時に強い地域の
体制づくり
★ 災害時のための、地域内連携の向上
★ 災害時にスムーズな対応ができる体制づくり
★ 避難行動要支援者の把握・情報更新
★ 被災地への柔軟な支援活動を通じた、被災地とのつながり

基本計画3
福祉団体・施設等との
連携・協働
★ 将来を見据えた福祉人材確保事業の実施
★ 当事者が地域と関われる場づくり
★ 必要な情報を必要な人に伝えるしくみづくり
★ 職能団体や事業所、ボランティアグループと地域との接点づくり

基本計画4
各相談機関との連携強化と
相談体制の充実
★ 住民参加による支えあい活動の検討
★ 専門職同士の横のつながりづくり
★ ひとりの人を包括的に支援する体制づくり
★ 支援の必要な人からの相談を受けられる体制づくり

基本計画6
地域福祉の
将来像の共有
★ 第四次綾瀬市地域福祉活動計画の進行管理
★ 地域福祉活動計画の理解
★ 地域における中長期的な目標の設定
★ 綾瀬市に魅力を感じることでできる活動の推進
★ 第五次地域福祉活動計画の策定作業

基本計画1
地域の誰もが参加できる
地域活動の展開
★ 誰もが積極的に地域活動に参加できるきっかけづくり
★ 地域内資源の連携、横のつながりづくり
★ 対象を限定しない交流の場づくり
★ 地域内の困りごと(ニーズ)を受けとめるしくみづくり
★ 新たな人材と知り合うきっかけ、場づくり
★ 困りごとに気づくことのできるしくみづくり
★ アンケート調査等、地域の実情調査の実施
★ 自由に利用できる拠点の整備

基本計画2
ボランティア活動・
福祉教育活動の充実
★ ボランティアにとって、活動しやすい環境づくり
★ ボランティア活動の担い手の発掘
★ ボランティア団体同士の横のつながりづくり
★ 対象を限定しない福祉教育の充実
★ ボランティア情報の発信